

BUSINESS REPORT

第**72**期第2四半期報告書

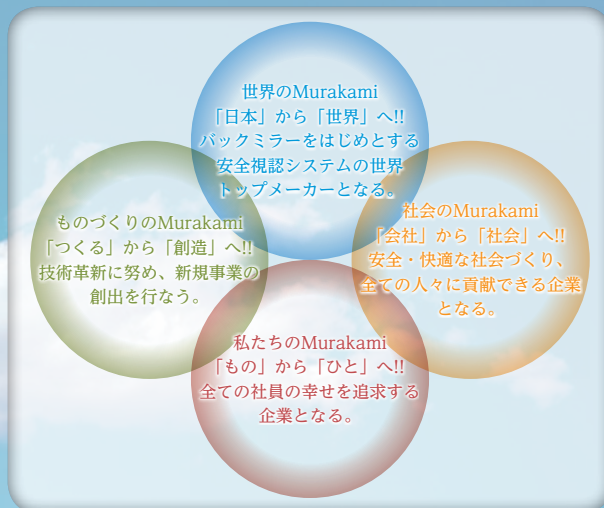
2014年4月1日>>>2014年9月30日

株式会社村上開明堂

証券コード：7292

私たちは、社業を通じて 「人の役に立つ」村上開明堂を 目指します。

「もの」に込める“技術”と“思い”、
企業活動を通じて「絆」を結び、
社会に「幸せ」を提供し、輝く未来をつくります。



ミラーシステム事業

自動車用バックミラーは、コンパクトなボディに薄膜・機構・電気系といった多様な技術で構成されています。この複合システムを一貫体制で自社開発・設計・生産している専門メーカーは世界でも稀で、当社はその先駆けといえます。ミラーに特化した専門技術と、次世代ミラーを実現する開発力で、国内の主要自動車メーカー各社から信頼をいただいています。近年では海外展開に注力しており、国内シェアNo.1から世界トップメーカーへの飛躍を目指しています。

オプトロニクス事業

高精度の光学薄膜技術をはじめ、ミラーシステム事業で培った多様な技術力を活かして、より幅広い分野にアプローチするオプトロニクス事業。OA機器に組み込まれる高反射ミラーや、映像機器に用いるダイクロイックミラー、自動車のヘッドアップディスプレイに組み込まれる曲面ガラスミラーなど、多様な機能を持つミラー・フィルター類を中心とした光学機器用部品の製造を行っています。ミラーシステムと同様、開発から生産までの一貫体制を強みとして、お客様の要望に合わせた柔軟な提案力で対応します。

その他事業

創業当時からの事業の流れを汲む、ガラス建材を中心とした住宅関連事業を筆頭に、樹脂原料販売、物流・運送、人材派遣など、お客様のニーズに応じて多様な事業を関連会社で展開。これからも各事業のネットワークを拡充し、グローバルカンパニー・村上開明堂を支えていきます。

トピックス ~CSR活動報告~

① 富士山クリーンプロジェクト2014に参加

「世界文化遺産富士山」のふもとを清掃するボランティア活動「富士山クリーンプロジェクト2014」が10月25日に開催され、当社もCSR（企業の社会的責任）活動の一環として参加しました。当日は天候にも恵まれ、トタンや廃材、植木鉢などを全員で協力しながら回収しました。



登山家 野口健さんとの記念撮影



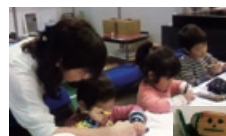
清掃活動の様子

② こどもみらいプロジェクトin藤枝に出席

「こどもみらいプロジェクトin藤枝市制60周年イベント」が、5月10日、11日に同市前島の県武道館で開催され、2日間で1万人以上の方が訪れました。当社もブースを出展し、当社の製品や技術について紹介をしました。また、「ミニチュア3Dドアミラー塗り絵」、「当社ロゴ入りの紙飛行機製作」等のものづくり体験コーナーを設け、多くの方に楽しんでいただきました。



当社展示ブース



塗り絵体験

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、当社第72期第2四半期（2014年4月1日から2014年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ここに報告申し上げます。

当第2四半期の経営成績

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が見られたものの、経済対策や金融政策等を背景に円高の是正効果が継続し、景気は緩やかながら回復基調で推移しております。世界経済全体では、新興国での経済成長の鈍化等の不安要素はあるものの、米国での景気回復等を背景に全体的には低調ながら堅調に推移いたしました。

主要取引先であります自動車業界においては、国内における自動車生産台数は、消費税増税後の反動減が懸念されましたが、景気の回復に支えられ、昨年に比べ、ほぼ横ばいとなりました。また、海外における自動車生産台数は、タイ国で減産となったものの、北米や中国等での堅調な需要拡大により昨年を上回ることとなりました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は、国内における自動車用バックミラー販売の減少が響き、29,380百万円（前年同期比1.8%減）となりました。利益につきましては北米拠点の業績が好調に推移したこと等により、営業利益は2,414百万円（前年同期比4.1%増）、経常利益は2,837百万円（前年同期比4.3%増）、四半期純利益1,890百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

セグメント別の概況

日本では、主力の自動車用バックミラーの販売が減少した結果、売上高は17,305百万円（前年同期比3.8%減）となり、営業利益は1,305百万円（前年同期比8.4%減）となりました。

アジアでは、タイ国での自動車販売の低迷が響き、売上高は7,490百万円（前年同期比6.8%減）となったものの、営業利益は合理化施策の効果等により、683百万円（前年同期比11.9%増）となりました。

北米では、堅調な個人消費の回復や新車への買い替え需要の増加等により、自動車生産台数が増加した結果、売上高は4,584百万円（前年同期比18.1%増）となりました。営業利益は売上高の増加や合理化施策の効果等により、404百万円（前年同期比407.2%増）となりました。

中間配当につきましては、11月11日の取締役会におきまして、1株につき10円と決定いたしましたので、お受取りくださいますようお願い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



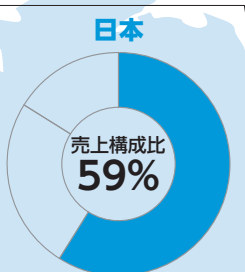
2014年12月

代表取締役社長 **村上太郎**

各国の地域性に適応し、 村上市質を世界へ。

国内自動車メーカーの世界戦略を見据え、海外5か国の生産体制確立を進めています。生産体制や市場戦略は現地の実情に照準を合わせつつも、村上のものづくりマインドと世界トップクラスの品質は一貫して踏襲しています。販路も日本に留まりません。海外企業へも積極的に拡大しています。

株式会社村上開明堂九州
株式会社村上開明堂コンフォーム
株式会社村上開明堂化成
株式会社村上開明堂精機
株式会社エイジー
株式会社村上エキスプレス
株式会社村上開明堂ビジネスサービス



本社（静岡市）



藤枝工場（藤枝市）



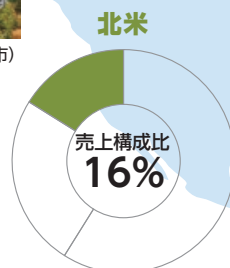
Murakami Manufacturing U.S.A.Inc. (MMUS)



大井川工場（藤枝市）



築地工場（藤枝市）



嘉興村上汽車配件有限公司 (MIC)



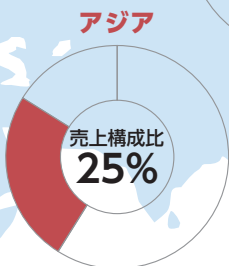
村上開明堂（香港）有限公司 (MHK)



PT. Murakami Delloyd Indonesia (MDI)



Murakami Manufacturing Mexico, S.A. de C.V. (MMME)
(完成予想図)



MURAKAMI AMPAS (THAILAND) CO.,LTD. (MATCO)



Murakami Saikyu (Thailand) Co.,Ltd. (MST)



Murakami Manufacturing (Thailand) Co.,Ltd. (MMT)



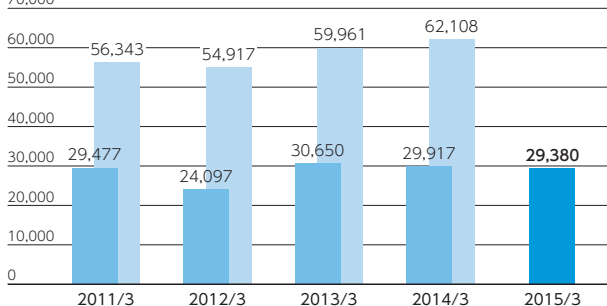
Murakami Corporation (Thailand) Ltd. (MCT)

売上高

■ 第2四半期 ■ 通期

(百万円)
70,000

前年同期比
-1.8%

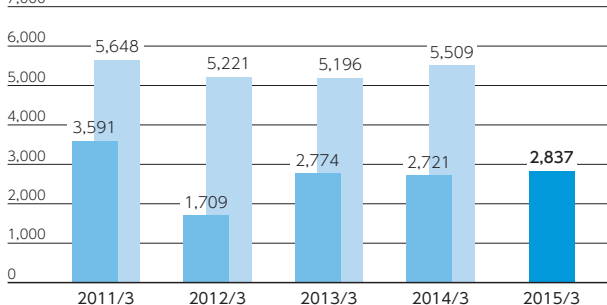


経常利益

■ 第2四半期 ■ 通期

(百万円)
7,000

前年同期比
+4.3%

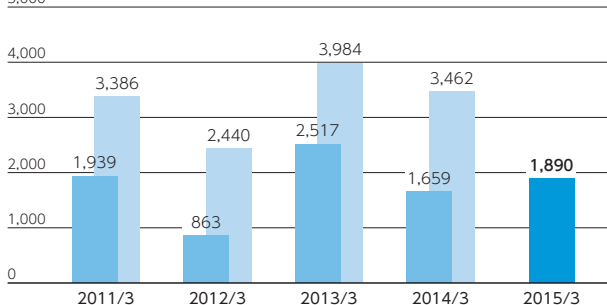


四半期(当期)純利益

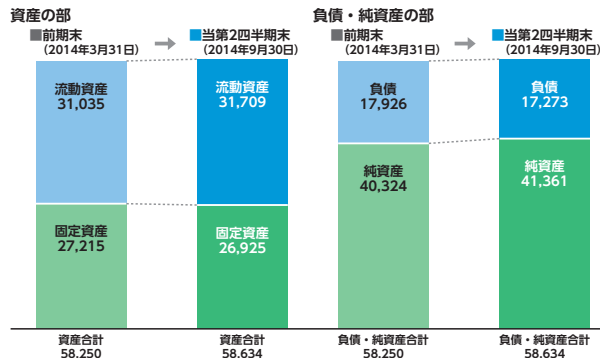
■ 第2四半期 ■ 通期

(百万円)
5,000

前年同期比
+13.9%

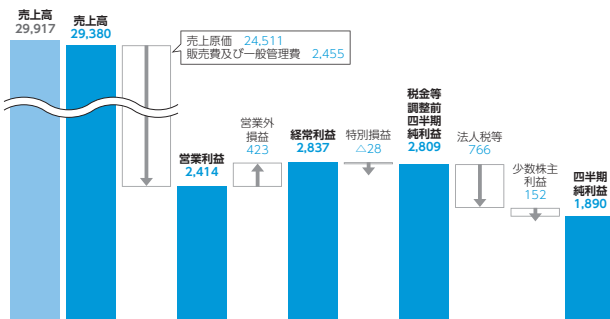


連結貸借対照表 (百万円)



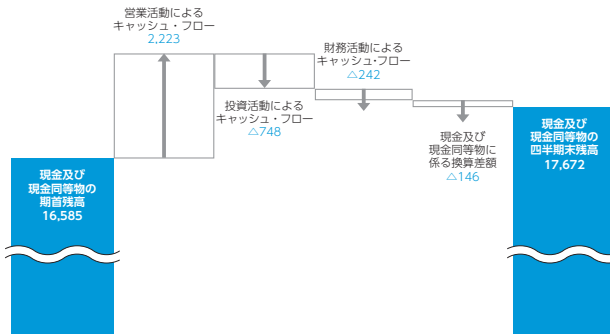
連結損益計算書 (百万円)

■ 前第2四半期 (2013年4月1日~2013年9月30日) ■ 当第2四半期 (2014年4月1日~2014年9月30日)



連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)

■ 当第2四半期 (2014年4月1日~2014年9月30日)



会社の概要

商号 株式会社村上開明堂
 設立 昭和23年3月27日
 資本金 3,165,445,000円
 発行済株式総数 13,100,000株
 事業内容 自動車用バックミラー、ファインガラスの製造及び販売、外壁・硝子の施工、住宅リフォーム
 従業員数 連結：2,688名 単体：923名

役員

取締役

取締役社長
 (代表取締役) 村上 太郎
 専務取締役 富野 文夫
 常務取締役 吉村 勝行
 取締役相談役 村上 英二
 取締役 望月 義人
 取締役 奥野 雅治

監査役

監査役 増井 邦夫
 (常勤)
 ※監査役 小室 太郎
 ※監査役 齋藤 安彦
 ※監査役 神谷 聡一郎
 ※監査役 石橋 三洋

(注) ※印の監査役は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

執行役員

常務執行役員 豊長 敬治
 常務執行役員 鈴木 敏行
 常務執行役員 池谷 雄雄
 常務執行役員 沖本 美敏
 執行役員 菊地 俊明
 執行役員 長谷川 猛
 執行役員 マイケル ローデナバーグ

主要な事業所及び工場

本社：静岡県静岡市
 工場：藤枝工場（静岡県藤枝市）
 大井川工場（静岡県藤枝市）
 築地工場（静岡県藤枝市）

関係会社

国内

株式会社村上開明堂九州
 株式会社村上開明堂コンフォーム
 株式会社村上開明堂化成
 株式会社村上開明堂精機
 株式会社エイジー
 株式会社村上エクスプレス
 株式会社村上開明堂ビジネスサービス

(注) 株式会社村上開明堂精機は、2014年12月31日の解散を予定しております。

海外

Murakami Manufacturing U.S.A.Inc.
 嘉興村上汽車配件有限公司
 Murakami Manufacturing(Thailand)Co.,Ltd.
 MURAKAMI AMPAS(THAILAND)CO.,LTD.
 村上開明堂（香港）有限公司
 Murakami Saikyū(Thailand)Co.,Ltd.
 PT.Murakami Delloyd Indonesia
 Murakami Corporation(Thailand)Ltd.
 Murakami Manufacturing Mexico, S.A. de C.V.

株式情報

発行可能株式総数…………… 29,900,000株
 発行済株式の総数…………… 13,100,000株
 株主数…………… 844名

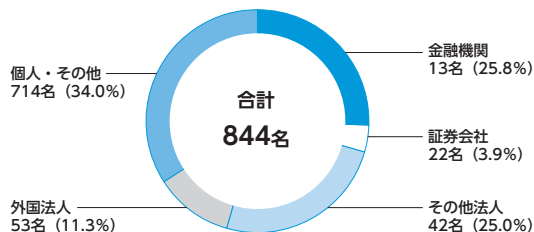
大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社豊英社	1,230	9.5
村上太郎	1,043	8.0
村上英二	1,004	7.7
ビービーエイチ フォー ファイデリティ ロー プライズド ストック ファンド (プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	829	6.4
旭硝子株式会社	739	5.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	624	4.8
株式会社静岡中島屋ホテルチェーン	460	3.5
株式会社静岡銀行	459	3.5
明治安田生命保険相互会社	447	3.4
立花証券株式会社	416	3.2

(注) 1. 表示単位未満を切り捨てて表示しております。
 2. 出資比率は、自己株式168,351株を控除して計算しております。

株式分布状況

〈所有者別〉



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日

期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

公告の方法 電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。

<http://www.murakami-kaimeido.co.jp/usIr/koukoku>

ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

特別口座の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

